

福智町人権講演会 人権意識を高めるため力強く訴えた

テレビでも活躍中の人材育成コンサルタント・辛淑玉さんを招いた人権講演会が、1月23日に地域交流センターで開催され、約250人が参加しました。「人権力を養う」をテーマとし、犯罪容疑者の家族や政治家と直接話した経験などをもとに、差別問題に熱弁を振った辛さん。うわさや偏見などで物事の表面だけを見てしまいがちな日本人に警鐘を鳴らしました。



↑パワフルで引き込まれる語り口が参加者の心をつかみ「もっと聞きたかった」の声も。

↓分列行進で、一糸乱れぬキビキビとした動作を披露する「福智町女性消防団」



災害ゼロへ士気を高める 下田川ニヶ町連合消防出初式

1月10日に「下田川ニヶ町連合消防出初式」が挙行され、会場となった糸田町民グラウンドに消防団員469人と消防車19台が出動しました。突き刺すような寒さの中、中村博樹団長以下382人の福智町消防団員が、威儀を正して整列。服装点検や分列行進などで勇壮な姿を披露した団員らは、真剣な面持ちで地域の防災に向けて心を引き締めていました。

ひこさんがわ夢の会が初企画 河川敷を彩った筑豊最大級のツリー

12月23日から25日の間、高さ51mを誇るクリスマスツリーが赤池橋横の河川敷に登場し、人々の目を楽しませました。これは「ひこさんがわ夢の会」による初めての試みで、春のこいのぼり掲揚と同じく、川に目を向け環境意識を高めてもらうことを目的としています。大久保琢磨会長は「今回の企画は多くの人の協力で実現したもの。これからみなさんと一緒に、親しまれる美しい川をめざしたい」と思いを寄せました。



←クリスマスソングが流れ幻想的な雰囲気を醸した会場。初日はぜんざいが振る舞われました。

↓射場に並び、28m先の的を見据えて真剣な表情をのぞかせる参加者たち。



福智町で415人が一射入魂 第10回福智町弓道大会

県内各地から415人の弓道愛好者が集った「第10回福智町弓道大会」。12月13日に福智町弓道場で開催され、中高生から全日本・国体クラスのベテラン弓士まで、年代を超えた真剣な競射が行われました。張りつめた雰囲気の中で、参加者は集中力を切らさず日ごろの稽古の成果を存分に発揮。的に向かって力強く美しい一筋の矢を放っていました。

↓観客席から登場したあき竹城さん、真っ白なドレスに身を包み「キラキラ輝く人生のために!」の演題で講演。



第3回福智町住民福祉講座 笑いと涙の心温まるステージ

健康長寿の日を記念した住民福祉講座が、1月24日に同和対策研修センターで開催されました。午前は西九州大学の村田伸教授が、幸せな百歳を迎えるためのポイントを図示を交えて解説。午後は鞍高吹奏楽部OB永遠会による演奏の後、女優のあき竹城さんが華々しく登場しました。前向きな心の持ち方や芸能界でのエピソードをはじめ、デビュー前の苦難の道程や亡き母の思い出などを魅力たっぷりに伝えたあき竹城さん。笑いあり、涙ありのすてきな講演に会場の420人から大きな拍手が送られました。

個性豊かなニューフェース へいちくらッピング車両3両が運行開始

20周年を迎えた平成筑豊鉄道に、新車両が仲間入りしました。黒色に炭坑や沿線の風物が描かれた「炭都物語号」、緑色にちくまるくんをあしらった「ちくまる号」、行橋市の商業施設のイメージカラーにコスモスが咲く「ゆめタウン号」の3両です。昨年12月から運行開始した新車両は、色鮮やかな外観が目をひき、趣向が凝らされている内装も好評です。



↑新車両が勢ぞろいした12月12日の一般公開。多くのファンが訪れました。

↓初日の対面式でエイサーを演舞した中城村、福智町は獅子舞と和太鼓を披露。



友好と親交を深めた貴重な3日間 沖縄県中城村・福智町交流事業

夏に沖縄を訪問し、冬に福智町が受け入れるという児童の相互ホームステイを続けている交流事業。その沖縄県中城村との交流会が1月22日から3日間行われました。暖かい日が続く、お目当ての雪体験が心配されましたが、英彦山で恵みの降雪に遭遇。来町し、初めての雪に歓声を上げた16人は、白い息を吐きながら福智の児童との温かい交流を楽しみました。